

平成 31 年 度	部 長	課 長	担当課長補佐	精査主任	設 計			
<u>加 茂 公 民 館 新 築 建 築 主 体 工 事 内 訳 書</u>								
金 _____ 円 也			建築面積: 674 m <sup>2</sup>	工 期: 契約日から平成32年2月28日まで				
			延べ面積: 557 m <sup>2</sup>	工事場所: 米子市両三柳3292番地外				
工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
A	直接工事費			1	式			
B	共通費							
	共通仮設費			1	式			
	現場管理費			1	式			
	一般管理費等			1	式			
	共通費計							
	工事価格							
	消費税及び地方消費税相当額			1	式			
	総合計							







工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
a)	一般工事							
1	直接仮設工事			1	式			
2	土工事			1	式			
3	地業工事			1	式			
4	鉄筋工事			1	式			
5	コンクリート工事			1	式			
6	型枠工事			1	式			
7	防水工事			1	式			
8	石工事			1	式			
9	タイル工事			1	式			
10	木工事			1	式			
11	屋根・樋工事			1	式			
12	金属工事			1	式			
13	左官工事			1	式			
14	吹付工事			1	式			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
15	木製建具工事			1	式			
16	金属製建具工事			1	式			
17	ガラス工事			1	式			
18	塗装工事			1	式			
19	内装工事			1	式			
20	雑工事			1	式			
21	外構工事			1	式			
	一般工事 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
1	直接仮設工事							
	遣方			674	m2			
	墨出し			557	m2			
	養生費			557	m2			
	清掃・片付			557	m2			
	外部足場		枠組 手摺先行方式 建地幅 900	615	m2			
	最上階安全手摺		枠組用手摺先行方式 枠組本足場用	178	m			
	地足場			674	m2			
	躯体足場		H4.0～5.0	502	m2			
	躯体足場		H5.7～7.4	98.0	m2			
	外部仕上足場		H4.0未満 脚立足場	81.1	m2			
	外部仕上足場		H4.0～5.0 棚脚場	43.7	m2			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	内部仕上棚足場		H4.0未満 脚立足場	459	m2			
	内部仕上棚足場		H5.7～7.4	98.0	m2			
	ネット状養生シート張		防災Ⅱ類	615	m2			
	仮設材運搬費		外部足場 手摺先行方式	615	m2			
	仮設材運搬費		地足場	674	m2			
	仮設材運搬費		脚立 外部仕上足場	81.1	m2			
	仮設材運搬費		棚脚場 外部仕上足場	43.7	m2			
	仮設材運搬費		躯体足場 内部足場	600	m2			
	仮設材運搬費		安全手摺	178	m			
	仮設材運搬費		内部足場 棚足場	557	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
2	土工事							
	根切り		バックホウ 0.45m3	105	m3			
	床付け			199	m2			
	埋戻し		柱状改良残土含む 根切土利用	56.9	m3			
	盛土	B種	発生土	48.0	m3			
	機械運搬費		バックホウ 0.45m3	1	往復			
	盛土	D種	購入土	293	m3			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
3	地業工事							
	地盤改良杭 空堀部施工費			96.3	m			
	改良部施工費			1,037	m			
	材料費			172	t			
	増粘剤			430	kg			
	機械運搬費			1	式			
	機械組立解体費			1	式			
	セメントサイロ据付撤去費			1	式			
	室内配合試験費			1	式			
	六価クロム溶出試験費		配合試験時	1	検体			
	コア採取・圧縮試験費		頭部モールド	1	set			
	コア採取・圧縮試験費		深度モールド	3	set			
	コア採取・圧縮試験費		全長コア	1	set			
	全長コアホーリング試験費		ホーリングコア	1	箇所			
	平板載荷試験			1	式			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	現場管理費			1	式			
	碎石地業	Rcc-40	再生材 基礎下 t-150	16.6	m3			
	碎石地業	Rcc-40	再生材 土間 t-150	1.2	m3			
	碎石地業	Rcc-40	再生材 犬走り t-100	0.1	m3			
	防湿シート		ポリエチレンフィルム t-0.15	499	m2			
	床下断熱材	3種b	ポリスチレンフォーム t-25	499	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
4	鉄筋工事							
	鉄筋		D22 SD345	11.4	t			
	鉄筋		D19 SD345	5.5	t			
	鉄筋		D16 SD295A	0.8	t			
	鉄筋		D13 SD295A	6.8	t			
	鉄筋		D10 SD295A	42.8	t			
	鉄筋加工組立費			64.8	t			
	鉄筋運搬費		10t車	64.8	t			
	スクラップ控除			1.8	t			
	圧接費		D19+D19	220	箇所			
	圧接費		D22+D22	598	箇所			



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
5	コンクリート工事							
	レディミクストコンクリート 捨コン		Fc=18 S=15	10.0	m3			
	レディミクストコンクリート 基礎・地中梁		Fc=21+△3 S=15	100	m3			
	レディミクストコンクリート 1Fスラブ		Fc=21+△3 S=15	49.5	m3			
	レディミクストコンクリート 1F躯体		Fc=21+△3 S=15	439	m3			
	レディミクストコンクリート 犬走り		Fc=21+△3 S=15	13.9	m3			
	レディミクストコンクリート 増打ち		Fc=21+△3 S=15	11.8	m3			
	コンクリート打設費 捨コン		ホンプ打	10.0	m3			
	コンクリート打設費 基礎・地中梁		ホンプ打	100	m3			
	コンクリート打設費 1Fスラブ		ホンプ打	63.2	m3			
	コンクリート打設費 躯体		ホンプ打	439	m3			
	コンクリート打設費 増打ち		ホンプ打	11.8	m3			
	コンクリート打設費 犬走り		ホンプ打	13.9	m3			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	コンクリートポンプ車基本料金			7	回			
	ポンプ圧送費 捨コン			10.0	m3			
	ポンプ圧送費 基礎・地中梁			100	m3			
	ポンプ圧送費 1Fスラブ			49.5	m3			
	ポンプ圧送費 1F			439	m3			
	ポンプ圧送費 増打ち			11.8	m3			
	ポンプ圧送費 犬走り			13.9	m3			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
6	型枠工事							
	普通合板型枠 基礎・地中梁			208	m2			
	打ち放し合板型枠 上部躯体	B種		162	m2			
	普通合板型枠 上部躯体			3,260	m2			
	普通合板型枠 犬走り			9.6	m2			
	運搬費	10t		3,640	m2			
	コーン処理	目違い払い無し		1,141	m2			
	打継ぎ目地	20×20～30×30程度		158	m			
	化粧目地	20×20～30×30程度		48.7	m			
	メッシュ型枠 基礎・地中梁	運搬費共		350	m2			
	立体網目繊維シート打込み	外壁タイル剥離・剥落防止工 法用 材工共		73	m2			
	型枠処分費			1,092	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
7	防水工事							
	シーリング		打継部 15×20 変成シリコン	158	m			
	シーリング		誘発部 10×15 変成シリコン	48.7	m			
	シーリング		タイル部 15×20 変成シリコン	40.7	m			
	シーリング		サツ廻り 10×15 変成シリコン	279	m			
	シーリング		水切り 10×15 変成シリコン	92.1	m			
	シーリング		庇廻り 10×15 変成シリコン	14.2	m			
	シーリング		家具他 10mm以下 変成シリコン	47.0	m			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
8	石工事							
	洗濯場面台		t=25 W=150 人工大理石	0.9	m			
	汚垂れ石		t=20 W=600 御影石本磨き	1.7	m <sup>2</sup>			
	石庭 縁石		H150×W100×L900	13.8	m			
	景石		H1,800×W1,200×D400	1	ヶ所			
	景石		H700×W1,200×D1,000	1	ヶ所			
	雪見灯籠		400丸	1	ヶ所			
	菊鉢		500丸	1	ヶ所			
	飛石		450丸	5	ヶ所			
	ピンコロ縁		90×90×90	6.0	m			
	床		乱形乱張り	4.7	m <sup>2</sup>			
	砂利敷き		敷き厚50mm程度	5.0	m <sup>2</sup>			



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
9	タイル工事							
	(外部)							
	ハスリップタイル		300角	70.4	m2			
	点字タイル		視覚障害者用タイル	1.0	m2			
	妻壁タイル張り		ボーダーシート	72.9	m2			
	洗濯置場段鼻タイル			2.7	m			
	(内部)							
	玄関壁タイル張り		ボーダーシート	3.2	m2			
	ハスリップタイル		300角	11.7	m2			
	巾木		H-60	6.2	m			
	点字タイル		視覚障害者用タイル	1.7	m2			
		小 計						

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
10	木工事							
	(外部)							
	軒天井杉板張り		県産材 杉板 t-9本実	83.7	m2			
	同上下地合板張り		構造用合板t-9	83.7	m2			
	天井見切り縁		県産材 杉 100×30	42.4	m			
	外部 壁杉板張り		県産材 杉板 t-9本実	7.2	m2			
	同上下地合板張り		構造用合板t-9	7.2	m2			
	天井見切り		県産材 杉 25×25	72.6	m			
	(内部)							
	天井杉板張り		県産材 t-9 本実	6.6	m2			
	同上下地合板張り		構造用合板t-9	7.9	m2			
	天井幕板		桧積層 200×30	8.2	m			
天井 取り合い見切り		杉 25×25	8.2	m				

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	額縁		W=125 桧積層	9.0	m			
	額縁		W=100 桧積層	102	m			
	額縁		W=71 桧積層	149	m			
	額縁		W=60 桧積層	10.0	m			
	木枠		W=270 桧積層	2	箇所			
	三方枠		W=180 桧積層	2	箇所			
	天井杉板張り		県産材 t-9 本実	3	箇所			
	同上合板下地		構造用合板t-9	3	箇所			
	天井見切り		県産材 杉 100×30	18.8	m			
	天井見切り		県産材 杉 60×30	4.3	m			
	壁取り合い見切り縁		県産材 杉 25×25	27.4	m			
	幕板		桧積層 200×30	8.0	m			
	天窓廻り四方見切り		桧積層 100×30	69.8	m			
	壁見切り		県産材 杉 見付25	73.4	m			
	壁下地組		45×35縦@450横@300	231	m			
	壁杉板張り		県産材 H-2475 本実	122	m2			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	壁杉板張り		県産材 H-2045 本実	109	m2			
	巾木		県産材 杉 H-100	97.4	m			
	コーナーガード		40×40	5	箇所			
	カーテンボックス		150×150 桧積層材 t-25	65.7	m			
	カーテンボックス		250×150 桧積層材 t-25	10.9	m			
	ライニング		ポストフォーム	11.3	m			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
11	屋根・樋工事							
	瓦代			9,600	枚			
	雪止め角型			924	枚			
	半 瓦/右			46	枚			
	半 瓦/左			41	枚			
	RS袖 瓦/右			87	枚			
	RS袖 瓦/左			77	枚			
	RS寸長袖瓦/右			4	枚			
	RS寸長袖瓦/左			4	枚			
	RS角瓦/右			2	枚			
	RS角瓦/左			2	枚			
	トライ片流冠			184	本			
	F1冠瓦			44	本			
	トライ片流妻切止/右			2	本			
	トライ片流妻切止/左			2	本			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	F1カッポン			1	本			
	厚のし			210	枚			
	瓦運搬費			11,230	枚			
	施工 平面積み			892	m2			
	施工 片流れ棟			56.1	m			
	施工 隅棟			13.4	m			
	施工 壁際			52.5	m			
	施工 谷			8.6	m			
	ユカルーフ平板用			880	枚			
	専用接着材	#1300A		90	缶			
	ユカルーフ運搬費			1	式			
	副資材ビス、金物			1	式			
	ユカルーフ施工			892	m2			
	軒・ケラバ木取付	防腐処理品		158	m			
	軒・ケラバ板金取付	カラ-SUS t-0.35		158	m			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	谷工事		カラ-SUS t-0.35	8.6	m			
	捨水切り工事		カラ-SUS t-0.35	20.7	m			
	棟木取付			69.4	m			
	荷揚げ費			892	m2			
	発生材処分費			892	m2			
	軒樋		システム内樋 GLカラー 0.5mm W160	110	m			
	同上取付用唐草		アルミ押出型材	110	m			
	落ち葉よけ		GLカラー鋼板	110	m			
	受け金物		GL素地0.8mm加工	110	m			
	豎樋		カラ RS-VP φ100 SUS金物共	38.5	m			
	豎樋		SUS304 φ89 ドレイン共	9.3	m			
	自在ドレイン		塩ビカラー100φ用	11	箇所			
	雪持金網		瓦3段用	28.6	m			
	雪持金網		瓦2段用	7.0	m			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
12	金属工事							
	軽量鉄骨壁下地		100型@300 下地張りなし	50.0	m2			
	軽量鉄骨壁下地		100型@450 下地張りあり	34.0	m2			
	同上開口補強		100型	4	箇所			
	軽量鉄骨壁下地		65型@300 下地張りなし	11.4	m2			
	軽量鉄骨壁下地		65型@450 下地張りあり	49.0	m2			
	吹き抜け部SA天井		吊ボルトなし	51.4	m2			
	ホール斜め天井下地			46.0	m2			
	耐震クリップ天井下地			431	m2			
	水平振れ止め1段		ふところ1.5m以上	329	m2			
	水平振れ止め2段		ふところ1.5m以上	102	m2			
	ホール台形下り		LGS65	4.4	m2			
	同上開口補強		450角 19形	15	箇所			
	同上開口補強		300×250角 19形	4	箇所			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	同上開口補強		300×300角 19形	15	箇所			
	同上開口補強		400×200角 19形	2	箇所			
	同上開口補強		450×300角 19形	2	箇所			
	同上開口補強		900角 19形	11	箇所			
	同上開口補強		1,100×650角 19形	1	箇所			
	同上開口補強		220×1,235角 19形	2	箇所			
	同上開口補強		600角 19形	12	箇所			
	軒天軽鉄天井下地		耐風圧200kg/m <sup>2</sup>	83.7	m <sup>2</sup>			
	同上下り		H-200	29.4	m			
	垂れ壁		65型@300	1.4	m <sup>2</sup>			
	ライニングLGS下地			12.0	m <sup>2</sup>			
	天井点検口		450角 内外枠共目地	12	箇所			
	SUS巾木		H60	57.4	m			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	スチール製グレーチング		ノンスリップ 溝幅400 15mm	4.1	m			
	ステンレス床見切り		SUS304 t-1.5 HL	33.5	m			
	アルミ製庇		インターパイザー FIN180-SN D180×L3,800	2	箇所			
	アルミ製庇		インターパイザー FIN180-SN D180×L6,900	1	箇所			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
13	左官工事							
	コンクリート直押え		屋根下地	876	m2			
	コンクリート直押え		ベンチ	11.5	m2			
	モルタル塗		洗濯場 刷毛引き	11.1	m2			
	防水 モルタル金コテ押え		t-30 シート下	39.4	m2			
	モルタル金コテ押え		t-10 シート下	63.2	m2			
	タイル下モルタル		床 t-37	71.4	m2			
	排水溝モルタル		W-200	7.9	m			
	壁モルタル塗り		タイル下	77.0	m2			
	コンクリート直押え		笠木W-150	6.0	m			
	建具周囲モルタル充填		外部	279	m			
	建具周囲モルタル充填		内部	164	m			
	CB積み		洗濯機置場ライニング t-100 C種(16)	1.2	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
14	吹付工事							
	防水型複層仕上塗材	水系フッ素	下地調整費(C-1)共 コンクリート面 CE(厚型) ローラー塗	410	m2			
	軒裏 防水型複層仕上塗材	水系フッ素	下地調整費(C-1)共 コンクリート面 CE(厚型) ローラー塗	195	m2			
	高耐候性撥水剤塗		柱型	162	m2			
	外壁廻り 現場発泡ウレタン吹付		t-20	588	m2			
	外壁廻り 現場発泡ウレタン吹付		t-15	114	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	单 位	单 価	小 計	摘 要
15	木製建具工事							
	WD-1			2	箇所			
	WD-2			1	箇所			
	WF-1			2	箇所			
	WHD-1			4	箇所			
	WHD-2			3	箇所			
	WHD-2A			1	箇所			
	WHD-3			4	箇所			
	WHD-4			1	箇所			
	WHD-5			3	箇所			
	WHD-6			3	箇所			
	金物費			1	式			
	取付工事費			1	式			
	搬入費			1	式			
	小 計							



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
1)	アルミサッシ							
	ADW-1		引分けエンジンドア 3,945 × 2,550	1	箇所			
	ADW-2		袖FIXスクリーン付片開き 3,820 × 2,000	1	箇所			
	ADW-3		袖引違窓付引違戸 600 × 1,600	1	箇所			
	AW-1		中央FIX両袖引違連窓 5,140 × 1,560	1	箇所			
	AW-1A		中央FIX両袖引違連窓 5,595 × 1,560	1	箇所			
	AW-2		引違2連窓 3,670 × 1,560	2	箇所			
	AW-2A		引違2連窓 3,670 × 1,560	4	箇所			
	AW-3		ガラスルーバー窓枠 600 × 1,500	2	箇所			
	AW-4		引違3連窓 6,740 × 2,400	1	箇所			
	AW-4A		引違3連窓 4,640 × 1,560	1	箇所			
	AW-5		引違窓 2,000 × 2,300	1	箇所			
	AW-6		引違窓4枚建 4,000 × 2,300	2	箇所			
	AW-7		FIX窓 1,800 × 1,800	1	箇所			
	AW-8		突出し窓 FIX連窓 5,570 × 640	3	箇所			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	AW-9		突出し窓 FIX連窓 4,630 × 640	10	箇所			
	AW-10		引違窓4枚建 2,800 × 1,500	1	箇所			
	設計費			1	式			
	取付調整費			1	式			
	運搬費			1	式			
	アルミサッシ 小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
2)	トイレブース							
	PT-1			1	箇所			
	PT-2			1	箇所			
	PT-3			1	箇所			
	設計費			1	式			
	取付調整費			1	式			
	運搬費			1	式			
	トイレブース 小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
3)	スライディングウォール							
	MPT-1		W9,950 × H3,000	1	箇所			
	MPT-2		W4,950 × H2,500	1	箇所			
	下地取付工事			1	式			
	レール取付工事			1	式			
	サイドフレーム取付工事			1	式			
	パネル取り付け工事			1	式			
	運搬費			1	式			
	設計費			1	式			
	スライディングウォール 小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
17	ガラス工事							
	【鋼製建具】							
	強化透明ガラス		2.0m2以下 t-4	4.7	m2			
	複層透明ガラス		2.0m2以下 t-強化4+6+強化4	42.2	m2			
	複層透明ガラス		4.0m2以下 t-強化5+12+強化5	11.9	m2			
	複層透明ガラス		LOW-E 2.0m2以下 t-強化4+6+強化4	47.7	m2			
	複層透明ガラス		LOW-E 4.0m2以下 t-強化4+6+強化4	41.7	m2			
	複層ガラス大板施工費			1	式			
	ジャロジー		強化 t-6	17	枚			
	ガラスシーリング		8×10 シリコン	1,070	m			
	衝突防止表示			12	箇所			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	【木製建具】							
	ホリカ-ホネート(カスミ)		100×900 t-3	1.2	m2			
	ホリカ-ホネート(カスミ)		100×100 t-3	9	枚			
	運搬費			1	式			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
18	塗装工事							
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	天井杉面	13.8	m2			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	外部 耐候性 天井杉面	100	m2			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	外部 耐候性天井杉木見切り 糸幅150	78.9	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	玄関幕板 糸幅300	8.2	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	糸幅300	24.6	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	集会室1.2倉庫3.4 糸幅135	70.6	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	玄関ホール木製見切り 糸幅90	4.3	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	集会室1.2 糸幅130	14.1	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	サッシュ額縁 糸幅100	267	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	木製巾木 糸幅100	97.4	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	壁見切り 糸幅100	73.5	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	カーテンボックス 糸幅480	65.7	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	カーテンボックス 糸幅600	10.9	m			
	自然保護塗料塗り	素地ごしらえ共	内部壁面杉板	171	m2			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	EP塗り(防カビ)		ジョイントテープ共 ボード面 素地B種	345	m2			
	EP塗り(防カビ)		コンクリート面 素地B種	369	m2			
	EP-G		ジョイントテープ共 ボード面 素地B種	36.7	m2			
	SOP		鉄鋼面 糸幅100、300	8.2	m			
	SOP		鉄鋼面サッシュ方立 糸幅300	5.5	m			
	ウレタン塗装	素地ごしらえ共	家具面	7.1	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
19	内装工事							
	床 トイレ塩ビシート		t-2.0 抗菌 マーブル FS	24.0	m2			
	ビニル床シート		t-2.5 防滑性 木目 FS	279	m2			
	キッチンパネル		t-6	2.4	m2			
	壁 石膏ボード		t-12.5+9.5	110	m2			
	壁 石膏ボード		GL t-12.5+9.5	173	m2			
	硬質石膏ボード		GL t-9.5 下張 GB-R t-12.5共	40.3	m2			
	壁 石膏ボード		GL t-12.5	173	m2			
	壁 耐水石膏ボード		GL t-12.5	35.0	m2			
	壁 耐水石膏ボード		t-12.5	80.7	m2			
	壁 化粧ケイカル板		t-6 耐水石膏ボードt-12.5下地	148	m2			
	直張りフローリング		t-15	198	m2			
	天井 化粧石膏ボード		t-9.5	93.0	m2			
	天井 化粧石膏ボード		不燃 t-9.5	5.0	m2			
	下り壁		t-9.5	3.3	m2			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	天井 石膏ボード		t-12.5+9.5	32.4	m2			
	岩綿吸音板		t-9 PB t-9.5 下地共	368	m2			
	天井廻り縁		塩ビ	452	m			
	下り壁見切縁		塩ビ	8.7	m			
	ビニル巾木			147	m			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
20	雑工事							
1)	流し台工事			1	式			
2)	ブラインド工事			1	式			
3)	家具工事			1	式			
4)	サイン工事			1	式			
5)	その他工事			1	式			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
1)	流し台工事							
	湯沸し室キッチン		搬入施工費共 コンパクトキッチン W1,500	1	台			
	授乳室流し台		搬入施工費共 L-1,000	1	台			
	流し台工事 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
2)	ブラインド工事							
	集会室AW-4 ブラインド		W4,540×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	集会室AW-4A ブラインド		W4,670(2台割)×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	集会室AW-4 ブラインド		W2,240×H2,600 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	事務室AW-1 ブラインド		W5,410(2台割)×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	事務室AW-1A ブラインド		W1,035×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	印刷倉庫AW-1 ブラインド		W4,560(2台割)×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	学習室兼相談室AW-8 ブラインド		W2,090×H2,600 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	学習室兼相談室AW-8 ブラインド		W3,300(2台割)×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	学習室兼相談室AW-2 ブラインド		W3,670(2台割)×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	研修室1、2ADW-3 ブラインド		W1,800×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	研修室1、2ADW-3 ブラインド		W1,800×H2,600 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	研修室1、2ADW-2A ブラインド		W3,670(2台割)×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	1	台			
	図書室AW-2A ブラインド		W3,670(2台割)×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	2	台			
	講習室AW-2A ブラインド		W3,670(2台割)×H1,800 ギア式横型 材質:モノコム同等品	2	台			



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
3)	家具工事							
	玄関下足入 各区域資料入れ棚		W3,800 D460 H875 W3,800 D300 H600	1	箇所			
	講習室食器棚		W3,800 D450 H1,600	1	箇所			
	受付カウンター		L=4,200	1	箇所			
	集会室窓下収納棚		W4,630 D450 H870	1	箇所			
	扉付姿見鏡		鏡共	1	箇所			
	取付費			1	式			
	搬入費			1	式			
	家具工事 小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
4)	サイン工事							
	S-1 館銘文字		200×200 5文字 SUS 5t 切文字 アクリル焼付	1	箇所			
	S-2 管内案内板		600×600 アクリル3+5t IJ印刷	1	箇所			
	S-3 片持ち室名札		200×200 シート文字	10	箇所			
	S-4 片持ち室名札		200×200 ピクト	3	箇所			
	S-5 ピクトサイン		扉貼り付け ピクト+案内文字	1	箇所			
	S-6 室名		扉シート文字貼り H30	7	箇所			
	S-7 ピクトサイン		150×150 シート貼り	2	箇所			
	S-8 ピクトサイン		150×150 4枚 シート貼り	1	箇所			
	身障者駐車場標識 S-9 ピクトサイン		400×600 アルミPL-3フッソ焼付塗装+シート文字	1	箇所			
	サイン工事 小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
5)	その他工事							
	消火器ケース		KS-FE01F(専用ブラケット共)同等品	3	箇所			
	カーポート		四国化成工業スマートポート同等品 積雪50cm対応型(1,500N/m2)	1	箇所			
	同上基礎			1	式			
	サイクルポート		3連棟 W7,278×D2,083×H1,900 積雪50cm対応型(1,500N/m2)	1	箇所			
	同上基礎			1	式			
	ポスト		埋め込みタイプ木調	1	箇所			
	K-1 木枠掲示板		W1,800×H900	2	台			
	映写用スクリーン		可動式 W1,800×H1,800	1	台			
	館銘板		木製 W250×H1,200×t40	1	箇所			
	耐酸鏡		取付費込み W1,500×H870 t-5	2	箇所			
	ピクチャーレール		壁付けタイプ 壁付け用フック2個/m	231	m			
	その他工事 小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
21	外構工事							
	盛土		再生コンクリート砂	217	m3			
	すきとり			11.6	m3			
	盛り土		発生土	56.2	m3			
	車止ブロック		L=600 後付アンカー取付	2	箇所			
	車止ブロック		L=600 後付アンカー取付	9	箇所			
	デッキ工事		金物共	32.0	m2			
	ベンチデッキ		W420 H450 L=3,100	1	箇所			
	ベンチデッキ		W420 H450 L=5,800	1	箇所			
	ベンチデッキ		W420 H450 L=3,200	1	箇所			
	デッキ部材運搬費			1	式			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	縁石ブロック		地先境界ブロックA	89.6	m			
	排水溝		W-500 コンクリート二次製品	36.0	m			
	排水柵		600角	2	箇所			
	ヒューム管敷設		φ400	10.0	m			
	グレーチング		車道用 W-400	36.9	m			
	高麗芝			75.3	m <sup>2</sup>			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
b)	その他工事							
1	調理実習台工事			1	式			
2	舗装工事			1	式			
	その他工事 計							



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
2	舗装工事							
	アスファルト舗装		再生密粒 A-5-15	1,653	m3			
	アスファルト補修		t-40	11.6	m2			
	駐車場ゼブラマーク			79.5	m			
	車椅子マーク			1	箇所			
	白線引き			289	m			
	インターロッキング		t-60	72.2	m2			
	点字ブロック			10.4	m2			
	小 計							



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
a)	一般工事(木造主体構造に係る工事を除く)							
1	直接仮設工事			1	式			
2	土工事			1	式			
3	地業工事			1	式			
4	鉄筋工事			1	式			
5	コンクリート工事			1	式			
6	型枠工事			1	式			
7	外壁工事			1	式			
8	木工事			1	式			
9	屋根・樋工事			1	式			
10	金属工事			1	式			
11	左官工事			1	式			
12	金属製建具工事			1	式			
13	ガラス工事			1	式			
14	塗装工事			1	式			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
15	内装工事			1	式			
16	雑工事			1	式			
一般工事(木造主体構造に係る工事を除く) 計								

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
1	直接仮設工事							
	遣方			75.2	m2			
	墨出し			75.2	m2			
	養生費			75.2	m2			
	清掃・片付			75.2	m2			
	外部足場		枠組手摺先行方式 建地幅600 2ヶ月	176	m2			
	最上階安全手摺		枠組手摺先行足場用 2ヶ月	42.3	m			
	内部足場		脚立足場	75.3	m2			
	ネット状養生シート張		防炎Ⅱ類	176	m2			
	仮設材運搬費		外部足場 手摺先行方式	176	m2			
	仮設材運搬費		内部足場	75.3	m2			
	仮設材運搬費		安全手摺	42.3	m			



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
2	土工事							
	盛り土	B種	バックホウ0.28m3	15.4	m2			
	機械運搬費		バックホウ0.28m3	1	往復			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
3	地業工事							
	防湿シート		ポリエチレンシート t-0.15	78.3	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
4	鉄筋工事							
	鉄筋		D13 SD295A	2.3	t			
	鉄筋加工組立費			2.3	t			
	鉄筋運搬費		10t車	2.3	t			
	スクラップ控除			0.1	t			
	アンカーボルト		材料 M12 L=400基礎	32	set			
	アンカーボルト		取付費 M12 L=400基礎	32	個所			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
5	コンクリート工事							
	レディミクストコンクリート 捨コン		Fc=18 S=15	0.7	m3			
	レディミクストコンクリート ベタ基礎		Fc=21+ $\Delta$ 3 S=15	17.4	m3			
	レディミクストコンクリート 基礎立ち上り		Fc=21+ $\Delta$ 3 S=15	1.7	m3			
	コンクリート打設費 捨コン		人力	0.7	m3			
	コンクリート打設費 べた基礎		ポンプ打	17.4	m3			
	コンクリート打設費 立ち上り		ポンプ打	1.7	m3			
	コンクリートポンプ車基本料金			2	回			
	ポンプ圧送費 基礎・地中梁			19.0	m3			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
6	型枠工事							
	普通合板型枠 基礎			21.8	m2			
	普通合板型枠 立上り			14.6	m2			
	運搬費		10t	36.3	m2			
	コーン処理			14.6	m2			
	型枠処分費			12.0	m2			
		小 計						

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
7	外壁工事							
	水切り		土台 GLカラー t-0.5	33.1	m			
	窯業系サイディング		防火構造 光触媒 t-16 塗装品 釘留	131	m2			
	同上コーナー		壁材同質	15.0	m			
	開口部見切り		GLカラー t-0.5	44.6	m			
	軒天取り合い見切り		GLカラー t-0.5	19.2	m			
	透湿防水シート			131	m2			
	外壁下地木胴縁		18×45	131	m2			
	副資材			131	m2			
	発生材処分費			131	m2			
	運搬費			1	式			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
8	木工事							
	屋根下地		構造用合板t12 3×6	109	m2			
	内壁合板張り		構造用合板t12	90.4	m2			
	サッシュ額縁・見切り縁		杉上小節	31.2	m			
	壁取り合い見切り		杉25×25	34.0	m			
	壁下地		横12×60@300	20.9	m2			
	軒天下地組		杉 1等	32.5	m2			
	棚合板張り		構造用合板t12	65.2	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
9	屋根・樋工事							
	瓦棒葺き		フッ素塗膜GL鋼板 t-0.4	114	m2			
	唐草		屋根材同質	58	ヶ所			
	水上片棟包み		屋根材同質	4	ヶ所			
	ゴムアスルーフィング		t-1.2	114	m2			
	下地合板		t-12	114	m2			
	雪止めアングル		メッキアングル メッキ金具@836共	16.1	m			
	軒樋		W-150 SUS金物共	16.1	m			
	縦樋		Φ75 SUS金物共	8.7	m			
	屋根材荷上げ費			1	式			
	軒天		化粧パルプ繊維混入セメント板	32.5	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
10	金属工事							
	軽量鉄骨天井下地		直張り 19型 @300	13.7	m2			
	水平振れ止め1段			13.7	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
11	左官工事							
	外部							
	コンクリート直押え			17.1	m2			
	コンクリート直押え			71.6	m2			
	コンクリート直押え		基礎立上り	15.4	m			
	コンクリート直押え		基礎立上り	15.4	m			
	打ち放し面補修			4.4	m2			
		小 計						



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
1)	アルミサッシ							
	AD-1 片開き框ドア		上下アルミパネル付 800×2,000	2	箇所			
	AW-1 引違い窓		1,920×1,000	4	箇所			
	取付調整費			1	式			
	運搬費			1	式			
	設計費			1	式			
	アルミサッシ 小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
2)	アルミシャッター							
	SS-1		バランスシャッター 2,900×2,400	1	箇所			
	SS-2		バランスシャッター 3,900×2,400	1	箇所			
	取付調整費			1	式			
	運搬費			1	式			
	作図費			1	式			
	アルミシャッター 小計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要	
13	ガラス工事								
	型板ガラス		ガラス清掃・シーリング共 t-4	7.6	m2				
		小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
14	塗装工事							
	EP-G塗り		ホト面 素地B種	37.1	m2			
	防蟻防腐処理		土壌面状散布 木部:GL+1,000(外周)	71.6	m2			
	防塵塗装			71.6	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
15	内装工事							
	外部 廻縁		塩ビ	87.7	m			
	車庫内 廻縁		塩ビ	15.3	m			
	車庫内壁 ケイカル板		突き付け PB t-12.5共 t-6	23.4	m2			
	車庫内天井 ケイカル板		PB t-12.5共 t-6	13.5	m2			
	外壁PB張り		耐水石膏ボードt-12.5	131	m2			
	内壁PB張り		t-12.5 延焼線部分	12.0	m2			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要	
16	雑工事								
	タイヤラック		タイヤ4本分	1	台				
	消火器ケース		1本用	1	箇所				
		小 計							



工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
1	木工事							
	木材 桧防腐注入材		県産材 土台	0.7	m3			
	木材 杉KD		県産材 梁・桁等	4.1	m3			
	木材 杉KD		県産材 柱	1.8	m3			
	補足材 木材 杉1等		県産材 下地	4.4	m3			
	(棚材)							
	柱、根太掛け		県産材 杉1等	2.7	m3			
	正角		県産材 杉1等	2.3	m3			
	平割		県産材 杉1等	0.9	m3			
	プレカット			23	坪			
	建て方費			23	坪			
	金物・接着剤			1	式			
	運搬費			1	式			

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
	大工手間			14	人			
	手元		普通作業員	7	人			
	釘			45.8	kg			
	小 計							

工種	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	小 計	摘 要
B	共通費積上げ分							
	【共通仮設費積上げ分】							
	交通誘導員		交通誘導員B	60	人			
	敷き鉄板		t-22	285	m2			
	ゲート		W6.0m×H1.8m キャスターゲート	1	基			
	倉庫建て方用レッカー損料			1	日			
	VOC測定		居室7室 6種	1	式			
		共通仮設費積上げ分 計						

## 1 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適性化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。
- (5) 共同企業体が工事を請け負う場合、構成員による下請けは行わないこと。

## 2 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、鳥取県が定める「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
  - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
  - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。
- (5) 工事に使用する資材については、極力有害性VOC（揮発性有機化学物質）発生量の少ないものとするよう努めること。

## 3 工事の安全確保について

- (1) この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。
- (2) 労働安全衛生法第 59 条、第 60 条の 2 に定める安全衛生教育を実施するほか、工事着手後、作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当てて、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施するものとし、施工計画書に実施項目について記載するものとする。

(3) この契約に係る工事の施工中に事故が発生した場合は、事故報告書（米子市建築工事等事故関係事務処理マニュアルに定める様式）を提出すると共に、建設工事事故データベースの「事故報告書」についても速やかに提出するものとする。

#### 4 建設機械の使用について

- (1) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場の快適性を高めるため、排出ガス対策型建設機械の使用に努めること。

#### 5 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和 42 年法律第 131 号）の目的に鑑み、同法第 1 2 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

#### 6 ダンプトラック等、による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当って、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

#### 7 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

#### 8 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共

加入並びに証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
- (4) 請負業者は、建退共の発注者用の掛金収納書を原則として契約締結後 1 ヶ月以内に提出しなければならない。

## 9 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第 26 条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1 級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第 40 条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

## 10 労働基準法等の遵守

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週 40 時間を遵守すること。

## 11 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 鳥取県暴力団排除条例（平成 23 年 3 月鳥取県条例第 3 号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行わないこと。
- (2) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (3) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

## 12 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

## 13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者の有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

#### 14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

#### 15 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

#### 16 契約方式について

本工事は総価契約方式を採用しており、設計図書に示された条件などに変更がある場合は契約を変更することができる。契約変更を行う場合には、変更設計額に当初の契約の請負比率を乗じ、変更請負代金額を算出する。

#### 17 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) この工事の受注者が、同一敷地内において工期が重複または継続する工事も受注している場合は、共通費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費等）を調整したもので変更契約する。
- (3) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (4) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (5) 特定フロンの使用の削減に努めること。
- (6) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (7) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

特記事項 [施工条件明示事項]

※ 番号、・に□印のあるものについて適用する。

明示項目	明示事項	条件
1 工程	1. 他工事との調整  2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限  3. 関係機関等との協議  4. 工事の指定部分  5. 地下埋設物等の調査  地下埋設物の移設が予定されている場合。	工事名 <u>加茂公民館新築電気設備工事</u> <u>加茂公民館新築機械設備工事</u> <u>米子市消防団加茂分団車庫新築建築主体工事</u> <u>米子市消防団加茂分団車庫新築建築設備工事</u> 上記工事との連絡及び工程の調整を図ること。 制限される工事 <input checked="" type="checkbox"/> 全般 制限の内容 <u>公民館の運営等に支障が起きないように協力すること。</u>  本工事において、関係法令上必要であれば、関係機関と協議を行うこと。  _____ については、 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日までに完成させること。  ・ _____ は事前調査を行い処理すること。 ・ _____ は調査済である。 ・ _____ 移設期間 _____
2 用地	1. 工事用車輛の駐車場	・ 駐車場がないため確保する必要がある。 ・ 敷地内に一部確保できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 原則として敷地内で確保するものとするが、不足を生じる場合には、別途確保すること。
3 公害対策	1. 施工方法、機械施設、作業時間等の制限  2. 工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合。	内 容 <u>関係法令を遵守すること。</u>  ・ 近隣家屋等の _____ ・ 事前事後の状況の写真を付して記録し ・ 事後 ( _____ ) の調査を行い、万全を期して施工すること。 ・ 工事概要について住民説明を行うこと。 ・ 近隣住民からテレビ受信障害及び工事に伴う損害が報告された場合、直ちに監督員等に連絡すると共に、市が行う対応等に協力すること。
4 安全対策	1. 交通安全施設等の指定	<input checked="" type="checkbox"/> 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通整理の必要日数 _____ 60日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 _____ 名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 _____ 60名（交代要員[有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
5 工事用道路	1. 一般道路を搬入路として使用する場合。 ・ (ア) 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等に制限がある場合。 ・ (イ) 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である場合。  2. 仮道路を設置する場合	<input checked="" type="checkbox"/> 運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対し損傷を与えないよう予防措置を講じ、また損傷を与えた場合は、速やかに原形に復すこと。 ・ 制限の内容 _____  ・ 処置の内容 _____  ・ 幅員 _____ m ・ 延長 _____ m ・ 切込砕石 厚 _____ cm ・ その他 _____ ・ 工事終了後の処置 _____

明示項目	明 示 事 項	条 件
<p><b>6</b></p> <p>仮設備</p>	<p><b>1.</b> 仮囲い等の範囲、構造</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 工事範囲をバリケード等により明確にすること。</li> <li>・敷地周囲に仮囲いを設置し、その施工範囲、仕様等は図示による。</li> <li>・山留めは _____ 工法とし、その施工条件は図示による。</li> <li>・各工事共通の揚重機械として _____ を設置しその施工条件は図示による。</li> <li><input type="checkbox"/> 敷地周辺の _____ 進入路 _____ 部分を鉄板敷きにより養生し、その施工範囲、仕様等は図示による。</li> <li><input type="checkbox"/> その他労働安全衛生法に基づく仮設備</li> </ul>
<p><b>7</b></p> <p>建設副産物の処理</p>	<p>1. 建設発生土の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(ア)他工事等流用</li> <li>・(イ)建設技術センター</li> <li>・(ウ)民間残土受入地</li> </ul> <p>2. 分別解体等</p> <p>3. 再資源化施設への搬出</p> <p>(施設の名称・受入れ費用)</p> <p>(受入れ時間帯) (受入れ条件)</p> <p>4. 最終処理等</p> <p><b>5.</b> 産業廃棄物処理</p> <p>6. 産業廃棄物の処理に係る税</p>	<p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ 工事現場に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。</p> <p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当たり _____ 円をセンターに支払うこと。</p> <p>建設発生土は _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当たり _____ (税別) _____ 円を _____ に支払うこと。</p> <p>民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300KN/m<sup>2</sup>以上)</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。なお、再資源化施設への搬出が完了したときは、書面により報告すること。</p> <p>コンクリート塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円</p> <p>アスファルト塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円</p> <p>建設発生木材 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円</p> <p>その他( ) _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円</p> <p>8時～17時(平日)</p> <p>ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。</p> <p>イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。</p> <p>ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm以下、長さ _____ m以下であること。</p> <p>エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。</p> <p>_____ については、_____ 市・町・村 _____ 地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離 _____ km)を想定し、その費用として1t当たり _____ 円を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。産業廃棄物処理業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>建設工事等から生じる廃棄物の処理については、関係法令を遵守すること。</p> <p>産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、 _____ 円見込んでいる。</p>
<p><b>8</b></p> <p>建設副産物の使用</p>	<p>1. 建設発生土の使用</p> <p><b>2.</b> 再生資源の使用</p>	<p>_____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所： _____ に使用する。</p> <p>ア Co雑割材は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。</p> <p>イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 再生クラッシャーラン〔規格：Rcc-40〕は、使用箇所： 図示箇所 _____ に使用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂〔規格：RS- _____〕は、使用箇所： 図示箇所 _____ に使用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 再生加熱アスファルト混合物〔規格：13〕は、使用箇所： 図示箇所 _____ に使用する。</p> <p>オ その他再生資材〔資材名： _____〕〔規格： _____〕は、使用箇所： _____ に使用する。</p>

明示項目	明 示 事 項	条 件
9 支 障 物 件	1. 地上、地下等に占用物件等の工事支障物件が存在する場合。	移設・撤去 防護等の方法 _____ _____ _____
10 濁 処 理	1. 排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	工法 処理の方法 放流先
11  そ  の  他	<p>1. 工事実績情報の登録</p> <p>2. 支給材料及び貸与品がある場合</p> <p>3. 工所用電力等を指定する場合</p> <p>4. 景観への配慮</p> <p>5. そ の 他</p>	<p>工事請負代金額500万円以上の工事について、受注時は工事契約後10日以内に、登録内容の変更（技術者の配置変更、工期の変更）時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員に確認を受けた後、（一財）日本建設情報総合センターにインターネット等により登録するとともに、同センター発行の「登録内容確認書」を監督員に提出するものとする。</p> <p>品 名 _____ 数 量 _____ 品質、規格又は性能 _____ 引渡場所 _____ 引渡時期 _____</p> <p>内 容 _____</p> <p>ア 本工事は、景観法に基づく通知対象行為である。 イ 通知対象行為の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の施工に際し、住民説明会を開催する予定であるので協力すること。</li> <li>・ 近隣住民等に対し安全及び騒音振動対策を十分に講じること。</li> <li>・ 契約図書の作成は、落札者において行うこと。</li> <li>・ アルミニウム製建具の製造所は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価名簿に記載されている製造所とすること。</li> <li>・ 当該営繕工事の予定価格は、材料及び労務単価を見直した平成30年度営繕工事設計標準単価（平成31年3月改訂版）により算出しております。</li> <li>・ 試運転に伴う本受電後の電力基本料金及び電気工作物保安管理費は、落札者において負担すること。</li> <li>・ 本工事に於いて適用する標準仕様書などの各基準について、改定により最新版が存在する場合は、監督員と協議を行い施工すること。</li> <li>・ 交通誘導員の単価については、警備業法に規定する警備員を配置するものとして、国土交通省による公共工事設計労務単価に警備会社が必要とする諸経費を含む費用を見込んでいる。なお、直接的及び恒常的な雇用関係にある自社の従業員で対応する場合は監督員と協議を行うこと。（単価は公共工事の積算に用いるものであり、下請契約に係る労務単価や雇用関係による労働者への支払い賃金を拘束するものではない。）</li> </ul> <p>_____</p> <p>_____</p>